

多文化共生の地域づくり事業

【国際交流プラザ】

1 事業の目的

言葉や生活習慣の異なる市民同士が文化的違いを認め合い、互いに助けあって暮らすことのできる多文化共生社会の実現のため、コミュニケーション支援や地域生活支援に取り組むとともに、市民と在住外国人との相互理解を促進する。

2 事業概要

(1) コミュニケーション支援

- ・在住外国人と日本人が、日常生活の様々な場面において相互の意思疎通を図り、対話の機会を増やすため、コミュニケーションを促進するためのツール作成や通訳ボランティアによる会話のサポートなどを通して、在住外国人のコミュニケーションを支援する。

(2) 地域生活支援

- ・在住外国人を対象として、多言語による相談窓口や相談から解決までを継続して支援するソーシャルコーディネーターの活用など、相談機能の充実を図る。

(3) 相互理解促進

- ・日本人が在住外国人とともに地域をつくるという考えを持ち、積極的な対話や交流ができるよう、多文化共生意識の啓発に努める。
- ・在住外国人のニーズ把握や、海外経験や国際的な視点から意見を反映させるため、意見交換会の実施により、「生の声」をまちづくりに反映できる仕組みを構築する。

3 事業スケジュール

- 平成22年度
- ・多言語通訳ボランティア派遣事業(要請に基づく派遣)
 - ・多文化共生ソーシャルコーディネーター事業(要請に基づく派遣)
 - ・在住外国人意見交換会の実施
 - ・モデル地区(清原)における取組(意識啓発、地域リーダーの発掘・育成)